しあわせ　みらい　見えないものも　診（み）ています

がくさいwatch

広報誌 がくさいウォッチ

2025 | autumn
vol.16

《特集》
新理事長就任

CONTENTS

松井道宣 理事長	2・3
上島圭一郎 病院長	4
社会福祉協議会 宿野尚子 さん	5
病院関連施設一覧	6

一般財団法人 京都地域医療学際研究所
がくさい病院

特集
Special edition

新理事長就任

住み慣れた地域で自分らしく

がくさい病院を運営する「一般財団法人京都地域医療学際研究所」では、2006年より19年間にわたって理事長職を務めた森洋一医師が退任し、６月に松井道宣医師が新理事長に就任しました。京都府医師会会長も兼任する松井理事長は、「医療と介護の力によって、誰もが住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしていけるような社会を作り上げていきたい」と就任の抱負を語っています。

一般財団法人 京都地域医療学際研究所
理事長
松井 道宣（まつい・みちのり）

兵庫医科大学卒業、京都府立医科大学大学院修了。滋賀医科大学医学部附属病院麻酔科、京都第二赤十字病院外科、京都府立医科大学附属病院第一外科などを経て、医療法人同仁会京都九条病院理事長。2017年より京都府医師会会長。専門は外科、救急科。予防医学にも力を注ぎ、患者と一体となった全人的な医療を目指している。

思いやりの心で支える「がくさい」の使命

80年代から先進的な取り組み実践

がくさい病院の母体である一般財団法人京都地域医療学際研究所は、1981年に京都府医師会を中心として、「地域医療」に尽力する医師会の会員を支援する目的で設立されました。設立当初から少子高齢化や人口減少社会の到来を予測し、医療や介護、健康維持増進などを研究。会員に向けて情報提供や提案を行ってきました。また、研究成果を実践する場の一つとして、84年にがくさい病院を開設しました。

当法人では、さらに、介護老人保健施設や在宅医療サービスなども立ち上げ、現在の地域包括ケアシステムの先駆けとなる先進的な取り組みを展開してきました。「学際研究」という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、異なる学問領域を横断的に研究して課題を解決していくという意味があります。

寿命を延ばす生活習慣を一つずつ

人口が高齢化すると、高齢者に多い病気――がん、脳疾患、心疾患、認知症、骨折などによる運動機能の低下といった疾患が増加していきます。もちろん、医療費も増大します。世界でもトップクラスの長寿国である日本ですが、これからの医療を考えたとき、「健康寿命」をどれだけ延ばせるかが最大のテーマとなります。

高齢になっても健康を維持していくためには、現在の生活習慣を見直して、規則正しい生活を送ることが一番です。具体的には、栄養バランスのとれた食事、禁煙、節酒、適度な運動…などが大切になってきます。ただ、一度に「あれもダメ、これもダメ」では長続きしないでしょうから、「三食きちんと摂る」「間食は控える」「夜は７時間以上眠る」といった正しい生活のポイントがありますので、その中から実行できそうなものを一つずつ取り入れていくことが、無理なく生活習慣を変えるコツだと思います。

得意の整形外科・リハビリを推進

現代の医療機関には、病気の人を治療するだけでなく、高齢になっても元気に自立して生活できるよう、介護予防やリハビリテーションに注力することが求められています。その意味で、がくさい病院は、伝統的に整形外科とリハビリテーションの領域を得意としており、変形性膝（ひざ）関節症や変形性股関節症などの治療や、在宅復帰・職場復帰を実現する回復期リハビリテーションにおいて大きな実績をあげています。

また、昨今の物価高騰などで、全国の医療機関の経営状況はひっ迫しており、赤字に陥っている病院も少なくありませんが、当院は森洋一前理事長のご指導もあって、しっかりとした経営基盤、体制の上で運営されています。

誰もが住み慣れた土地で長く元気に生活できるよう、質の高い医療と介護のサービスを提供できる法人であり続けたい。そのために、職員みんなで協力して、時代の変化にも対応しながら、当法人の基本方針でもある「急性期から生活期まで切れ目のないサービス」「思いやりの心で患者・利用者本位の医療・介護」を今後も推進していきます。

チームで支えるがくさいの医療

がくさい病院が誇る専門職スタッフ

地域とともに歩む医療・介護一体のがくさい病院

がくさい病院 病院長 上島 圭一郎
医学博士、京都府立医科大学臨床教授、日本股関節学会理事、日本整形外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医。

41年前に北区紫野で開院した「がくさい病院」は、開設当初から変わらず地域に根差した医療を展開してきました。12年前に中京区壬生に移転してからは、整形外科とスポーツ整形外科、回復期リハビリテーションに特化し、その特色、強みを最大限に生かすことで、他府県からも患者さんが来られる病院になっています。

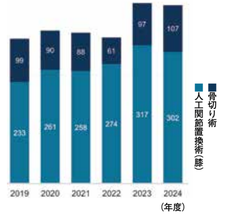
整形外科では「運動器」と呼ばれる骨、関節、靱帯、筋肉、神経などの疾病・外傷の診療を行います。

当院はその中でも、変形性膝関節症と変形性股関節症などを治療する「関節外科」と、運動選手の外傷・障害などを治療する「スポーツ整形外科」に特に力を入れています。変形性膝関節症は、菅 寛之副院長と日野 学整形外科部長を中心に診療にあたっており、京都府内はもちろん、関西でもトップレベルの診療実績を誇っています。

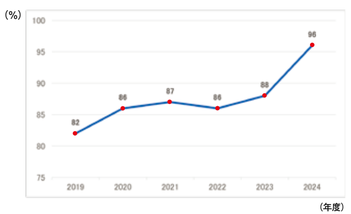
当院のもう一つの柱である回復期リハビリテーションは、前田博士部長を中心に療法士、看護師、介護士、薬剤師、管理栄養士らによる診療ユニットが、グループ内の介護施設や在宅介護部門とも連携して取り組んでいます。退院して自宅に戻られた患者さんの割合を示す「在宅復帰率」が、昨年度は過去最高の96％となりました(下表)。患者さんが元の日常生活に戻れるよう、スタッフ一人ひとりが最大限の力を発揮した結果だと思います。

今後は、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリなどの在宅部門をさらに強化・発展させて、がくさいグループが一体となって、退院された患者さんのフォローにも力を入れていきたいと考えています。

がくさい病院 関節外科
≪人工関節(膝)・骨切り手術件数≫推移



がくさい病院 回復期リハビリテーション
≪在宅復帰率≫推移



地域の専門病院から寝たきり予防のノウハウを学びたい

京都市中京区社会福祉協議会朱五学区副会長
京都市民生児童委員協議会朱五学区会長
宿野 尚子 さん

私が所属しているのは、社会福祉法人京都市社会福祉協議会（社協）の中京区社協の中で朱五学区を担当する朱雀第五学区社協です。朱五学区は、北は御池通の一部、南は四条通、東はJR山陰本線、西は京福電鉄嵐山線の一筋西の通りに囲まれたエリアになります。ちなみに、朱雀第五小学校は、戦後の学制改革の時に、朱雀中学校の校地・校舎に転用され、閉校しました。

朱五学区社協では、学区内にお住まいの65歳以上の方を対象にした「ふれあい元気サロン」と「朝カフェ」をそれぞれ毎月１回、朱雀中学校で開催しています。高齢者が自宅を出て、地域の人と交流してもらうことを目的にしています。

ふれあい元気サロンでは、京都市地域介護予防推進センターにお願いして、運動や栄養、お口の機能改善についての介護予防教室や体操教室などを開いています。

朝カフェやふれあい元気サロンに来てくださる高齢者は、月に１回の開催日を心待ちにされているご様子です。元気に歩いて参加される方もいらっしゃいますが、足腰が弱くなって、杖や手押し車で来られる方もおられます。ただ、そうした福祉用具を使ってでも体を動かすことが介護予防につながりますので、自宅にこもりがちな高齢の方が一人でも多く、私たちの活動に参加いただけるよう広報に努めています。

がくさい病院は、お隣の学区ということもあって、これまでつながりを持つ機会が少なかったのですが、同じ中京区の西部にありますし、整形外科とリハビリテーションの専門病院ですので、これからは高齢者の寝たきり予防につながるような取り組みに協力していただければと、私たちも期待しています。

学区内には、介護保険の通所サービスなども利用せず、自宅で頑張っている高齢者も少なからずおられます。そうした方々に集まってもらって、がくさい病院の医療介護の専門家から、身体機能の維持・向上に関して学べたらと思います。

高齢になると、将来起こるかもしれない健康や介護の問題について、漠然とした不安を抱きがちです。そんな時、「何かあっても、あそこに行けば助けてもらえる」という存在が身近にあれば、心強いです。そんな場所が、がくさい病院であり、私たち社協であればいいなと思います。

交通案内

市バス 四条河原町より 32 系統
市バス ＪＲ京都駅より 73･75 系統 ｝「市立病院前」下車 北へ徒歩4分
市バス ＪＲ京都駅より 205 系統「西大路松原」下車 東へ徒歩5分

阪急 西院駅より徒歩10分
京福嵐山線 西院駅より徒歩10分
ＪＲ 丹波口駅より徒歩12分

TAXI 京都駅から10分

関連施設等

がくさい病院
〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町１番９ TEL（075）754-7111

- 訪問リハビリテーション「がくさい」（がくさい病院内） TEL（075）754-7303
- 京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター（京都府より指定） TEL（075）754-7128
- 京都府リハビリテーション教育センター指定教育病院
- 日本整形外科学会研修指定病院
- 日本リハビリテーション医学会研修施設 TEL（075）754-7111
- 日本医療機能評価機構認定病院
  （リハビリテーション病院3rdG Ver2.0 付加機能評価リハビリテーション機能（回復期）Ver3.0）

介護老人保健施設「がくさい」
〒603-8465 京都市北区鷹峯土天井町54番地 TEL（075）494-0318

- 京都市北区地域介護予防推進センター（京都市より指定） TEL（075）494-0323

訪問看護ステーション「がくさい」
〒603-8223 京都市北区紫野東藤ノ森町11番3 TEL（075）431-6154

居宅介護支援事業所「がくさい」
〒603-8223 京都市北区紫野東藤ノ森町11番3 TEL（075）414-2662

京都市鳳徳地域包括支援センター（京都市より委託）
〒603-8145 京都市北区小山堀池町10番地 レスポアール紫明102 TEL（075）223-3511

京都 一般財団法人 京都地域医療学際研究所
がくさい病院
https://gakusai.or.jp/hospital
〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町１番９ TEL：075-754-7111
FAX：075-754-7100